

地域リハビリテーション支援センターの事業計画について③（区東北部）

荒川区・足立区・葛飾区

資料6

1 選定病院

社会医療法人社団医善会 いずみ記念病院（足立区）

所在地：東京都足立区本木1-3-7

2 事業計画と選定委員会での評価結果

小項目		事業計画					
必須の役割	地域リハビリテーション力の向上	(1) OT・PT・ST等対象の症例発表会など ・PT・OT・STそれぞれの関心の高いテーマをもとに企画する研修会 (7回/年) ・地域での取り組みを発表できる場を提供する研究会 (2) かかりつけ医へのリハビリテーション知識・技術情報提供 ・かかりつけ医がかかえるリハビリテーションに関する疑問や相談の多い内容をテーマとし、関係職種とのつながりを強化できるよう、グループワークや事例検討を企画 (1回/年)					
	訪問・通所リハビリテーション分野への支援	(1) リハビリテーション施設従事者とケアマネジャーとの交流の場の設定 ・研修会及び研究会を開催し、情報を伝達・共有するとともに、多職種間の意見交換ができる場を設定 (2回/年) (2) ケアマネジャーへの研修 ・「地域リハビリテーション」に係る関係職種の役割について理解を深め、協働していけるような研修会を企画 (2回/年) (3) ケアプラン相談支援 ・電話、FAX、メール 月～土曜日 9時～17時 ・研修会アンケート					
	地域リハビリテーション関係者との連携強化	(1) 設置を予定する地域協議会(連絡会) ・区東北部地域リハビリテーション協議会 (1回/年)					
選択する役割		(1) 高次脳機能障害のリハビリテーション事業への支援 ・心身障害者福祉センター（足立区「あしすと」、葛飾区「ウェルピアかつしか」、荒川区「たんぼセンター」）が開催する講演会や事例検討会等へ講師派遣 ・電話での相談支援、必要に応じた訪問 ・各関係機関の連絡会や会議に参加し、情報共有					
【評価結果】							
評価項目	地域リハビリテーション力の向上	訪問・通所リハビリテーション分野への支援	地域リハビリテーション関係者との連携強化	事業実施内容等(選択する役割)	これまでの取組状況(実績等)	小項目合計	総合評価
点数	3.50	3.50	3.83	4.17	4.00	19.00	4.00

3 区市町村・地区医師会への意見聴取

区分	区市町村		地区医師会	
	有 3か所	無 1か所	有 2か所	無 1か所
現在の連携状況	【連携内容】 ○荒川区 ・センター主催の研修に参加している。 ・センター主催の地域リハビリテーション協議会に参加し、情報交換している。 ・センターでのリハビリが終了する方の地域での受け入れ先として、たんぼぼセンターにつなげていただいている。 ○足立区 ・いずみ記念病院の地域リハビリテーション支援センターでは、地域に根ざしたりリハビリテーションを提供しており、当区では障がい福祉センターでの高次脳障害に係る講座を実施するなど、行政や医療機関、介護施設等との連携強化に取り組んでいる。 ○葛飾区 ・障害者施設課と共催で、地域のケアマネジャー、支援者を対象に、高次脳機能障害者講演会(令和元年6月26日)、事例検討会(令和2年1月29日)を実施。いずれも講師は高田耕太郎氏(区東北部地域リハビリテーションセンター長)。その他、区東北部地域リハビリテーションセンター主催の研修会に参加。		【連携内容】 ○荒川区医師会 ・地域リハビリテーション支援センターが開催する各種研修会の開催案内の周知並びに協議会等への担当理事の派遣等連携を図っている。 ○足立区医師会 ・足立医師会が主催する研修会での講演 ・区東北部地域リハビリテーション協議会への参加、地域の課題と情報共有 ・足立医師会員向けに区東北部地域リハビリテーション支援センター研修会の周知協力	
指定に対する意見	○足立区 ・同病院は、入院リハビリテーション、外来リハビリテーションの機能がおり、病床数は一般病床54床の他、回復期リハビリ病床として90床有しており、リハビリが必要な方のさらなる機能・能力の回復・維持、家族の介護軽減等を目的に取り組んでいる。同病院が、地域リハビリテーションに関し機能することは、区民が住み慣れた地域で暮らし続けることが期待できることから、区としても、地域リハビリテーション支援センターとして引き続き指定されることが望ましいと考える。 ○葛飾区 ・在宅リハビリテーション支援、専門療法士、福祉専門職、ケアマネジャーに対する知識・技術等に関する研修実施、地域リハビリテーションに関する課題等の情報交換を積極的に進め、リハビリ、生活訓練、介護等の現場の力量の向上につながる事業展開を期待する。		○荒川区医師会 ・現在でも、積極的に事業を実施しており、引き続き同様の活動を期待しています。 ○足立区医師会 ・妥当である。 ・かかりつけ医をはじめ、地域のリハ関連職種に対する研修会などへの協力など ○葛飾区医師会 ・当区では、フレイル・サルコペニア対策として、健診を試験的に導入しようとしています。健診後の介入の為に研修も行ってきていますが、今後も研修等の企画を予定しております。ご相談する時もあると思いますので、宜しくお願いします。	
事業計画に対する意見	○荒川区 ・セラピストごと(PT、OT、ST)の研修、連絡会等による連携強化をお願いしたい。 ・高次脳機能障がいについての勉強会等の開催とスーパーバイズをお願いしたい。(派遣アドバイザー等) ・地域におけるリハビリ資源の情報を発信していただきたい。(地域リハマップ) ○足立区 ・研修会・事例検討会等による人材育成や相談支援機関としての充実を図る姿勢から、地域のリハビリテーションにおける質の向上と連携を強化する取り組みであると感じられる。 ○葛飾区 ・現在、区において区内医療機関等に所属するリハビリ等専門職に委託し、区が支援する通所型住民主体サービスのうちの希望する高齢者等サロンに対し派遣を行っている。今後、区の示す「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」に沿った形態での早期実施に向けた技術的支援をお願いしたい。<高齢者支援課> ・記憶障害、社会的行動障害などの障害がありながら高次脳機能障害の診断を受けていない方の医療相談や診断、高次脳機能障害者の精神保健福祉手帳取得などについて、ご協力をいただきたい。<障害者施設課>			